

2020年4月6日

国立大学法人徳島大学長 野地澄晴 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長代行 今井 晋哉

新型コロナウイルス対策により経済的に困窮した学生への 支援への要望

この数か月、新型コロナウイルスへの対応につきまして、日夜を分かたずご尽力されていることに敬意を表します。

さて、ご承知のとおり、政府や地方自治体による「イベント自粛」「不要不急の外出自粛」といった要請により、日本経済は急激に悪化し、飲食店をはじめとして、大企業、中小企業を問わず経営が困難な状況となっております。そうした状況にあつて、政府による緊急経済援助はいまだ実施されず、おそらく多くの学生が、保護者の急激な経済的困窮によって学習権どころか生存権さえも脅かされかねない状況に陥っているのではないかと危惧されます。学生自身がアルバイトをしている場合にも、雇い先の休業や減収等によって収入を得られない状態になっている学生が多いのではないかとおもわれます。組合としては、そうした学生に対する緊急支援を検討されますように要望いたします。

あくまで例ですが、今年度はもはや学生を留学に送り出すことは困難だと思われまので、留学奨学金として準備していた資金などを、今回の新型コロナ対策のあおりで経済的に困難に陥った学生への支援に回すなどのことを緊急にご検討いただければ幸いです。

全国的に新型コロナウイルスへの対応に注目が集まっていますが、大学関連の論点は主に「感染拡大防止のための授業の延期」「遠隔授業の検討」などにとどまっています。そうした中、徳島大学が迅速かつ積極的な学生支援を行うならば、全国的に大きな話題となり、他大学にも波及するのではないかと期待されます。

組合としても、新型コロナウイルスへの対応のために尽力する所存です。よろしくご検討ください。

記

- ・ 新型コロナウイルスへの対応による経済状況悪化により困窮した学生への経済的支援策を緊急に策定されますことを要望します。

以上